

## MR I 検査（脳検査・上腹部）のご案内



★メディカルスキニングと提携し、MR I 検査（脳検査・上腹部）が実施できるようになりました。人間ドック・健康診断のオプション検査として、ご受診いただけます。

※MR I 検査とは強力な磁石と電波を使って、磁場を発生させることで撮影を行います。トンネル状の装置に入り、体の内部の断面をさまざまな方向から画像にします。撮影中には大きな音が鳴り続けます。

※MR A 検査とは血管を撮像する方法で、脳動脈の狭窄や閉塞、動脈瘤などを発見できます。

※DW I 検査とは細胞の水分子の運動を画像化するものです。正常な細胞は水分子の運動が活発ですが、腫瘍・梗塞・炎症など病変した細胞はこの運動が小さくなります。この状態を画像化することにより、病変を検出します。

**注意 以下に該当する方はMR I 検査を受けられないことがあります。**

- ・心臓ペースメーカー、エレキバンなどを装着されている方
- ・金属製の心臓人工弁を入れている方（チタンは除く）
- ・脳動脈瘤の手術により。金属クリップを入れている方
- ・人工関節などの金属類（チタンは除く）を体内に埋め込まれている方
- ・閉所恐怖症の方
- ・じっとしていることが困難な方
- ・妊娠中、または妊娠の可能性のある方
- ・以前に大きな外科手術を受けられたことがある方
- ・アートメイク・刺青・タトゥーを入れている方
- ・生理中の方 ※MR I レディース検査・全身がん検査は生理期間外をお勧めします。
- ・保湿性素材の下着を着用している方
- ・カラーコンタクトレンズをつけたままの検査は出来ません。

## 上腹部MRI・MRCP検査・・・・・・・・・・ 33,000円（税込）

膵臓、肝臓、胆のうの癌は、早期にはほとんど症状のないまま進行していきます。

2021年の厚生労働省が公表した人口動態統計によりますと、膵臓がんの部位別の癌の死亡者数は、男性では4番目（1肺がん、2大腸がん、3胃がん、4膵臓がん）

女性では3番目（1大腸がん、2肺がん、3膵臓がん、4乳がん）です。

膵臓がんを早期に発見することで早期治療が可能となり生存率が向上します。

上腹部MRI検査では肝臓、胆のう、膵臓を中心に撮影を行い、膵臓の、MRCPという撮影方法による膵管と胆管の異常の有無、DWI検査による腫瘍や炎症の有無を非侵襲的に診断することが可能です。MRIで異常を認めた場合には、造影CTや超音波内視鏡検査などの精査に進みます。

### 【膵臓がんのリスク】

- ① 親、兄弟に膵臓がんの家族がいる方（また、祖父母、叔父叔母、従兄弟に2人以上の場合）
- ② 遺伝性膵癌症候群の家系の方：遺伝性乳癌卵巣癌症候群（本人または血縁者に乳癌、卵巣癌、前立腺癌）、家族性大腸腺腫症、遺伝性非ポリポージス大腸癌、リンチ症候群、ポイツィエーガー症候群、遺伝性膵炎、家族性異型多発母斑悪性黒色腫症候群
- ③ 糖尿病を発症して2年以内、または糖尿病が急激に悪化している方
- ④ 肥満の方（特に若い頃から肥満）
- ⑤ 喫煙、飲酒の習慣がある方
- ⑥ 膵嚢胞と診断されたことがある方
- ⑦ 腹部超音波検査で膵管拡張を指摘された方
- ⑧ 慢性膵炎

※膵臓がんの早期発見のために、膵臓がんのリスクに該当する場合には腹部MRI、MRCP検査を積極的に受けられることをお勧めします。

当院では日本膵臓学会認定指導医が腹部MRIと採血の結果を判定し、責任をもって対応を行います。

[詳しいご案内はこちら](#)

## 脳ドック(脳MRI・MRA・DWI検査・頸動脈MRA) 33,880円（税込）

脳の病気は症状が現れないまま進行し、突然発症すると一瞬にして人の命を奪ったり、言語障害などの重い後遺症を残すことも少なくありません。

脳検査では脳梗塞の原因の血管狭窄や、くも膜下出血の原因である動脈瘤の検査をします。

まだ症状の現れない危険因子を発見し、発症を未然に防ぐお手伝いをします。

また、頸動脈MRA検査と併用していただくことで、より確かな診断ができます。

とくに頭痛やめまいなどの症状のある方におすすめいたします。

[詳しいご案内はこちら](#)